

# 電源コード付け根部分の損傷によるショート

様々な電気製品において、電源コード付け根部分の損傷によるショートが原因とみられる発火事故が発生しています。



事例その1: ヘヤードライヤーの本体出口部の電源コードが焦げて電源が入らない。  
事例その2: 電気あんかを足下に置いて就眠したが、足に熱を感じて取りだしてみると火花が出ており、コードの根本が焦げていた。  
事例その3: 寝る前の布団を予め暖めるために電気毛布のスイッチを入れておいたところ、しばらくして炎が上がった。コントローラ付け根のコードが断線していた。

## ここに注意！

- ✓ 電源コードの付け根部分は、屈曲や荷重が加わりやすい部分です。その対策として、プロテクタが設けられていますが、繰り返しの屈曲や荷重により断線が発生することがあります。
- ✓ 付け根の損傷に注意を払い、コードの外観に異常がないか使用の度毎に目視確認しましょう。異常があった場合には、当該機器の使用は止め、専門家に修理を依頼しましょう。

損傷に注意する部分

